

2014年12月24日

列車運行の更なる安全性向上を図ります

東上線で新運転保安システム ATC を使用開始します

～2015年1月31日（土）より東上線 川越市～小川町間、

2015年度中に東上線 池袋～川越市間 使用開始～

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、**列車運行の更なる安全性向上を図るため、当社として初めて運転保安システムATC（自動列車制御装置）を、2015年1月31日（土）より東上線 川越市～小川町間、2015年度中に東上線 池袋～川越市間で使用開始します。**

現在の運転保安システムATS（自動列車停止装置）と比べ、ATCは先行列車との間隔に応じてブレーキ制御を行うほか、曲線やポイント通過の際、列車の速度を自動的に連続して制御することが特徴であり、列車の運行において更なる安全性の向上が図られます。なお、このたびのATCの使用開始に合わせて東上線、越生線の列車の運転時刻を変更します。

当社では、今後とも更なる安定輸送施策に取り組み、ご利用のお客さまにとってより安全・安心な鉄道会社を目指してまいります。

概要は、以下のとおりです。

1 ATC使用開始日・区間

2015年1月31日（土）初列車より、東上線 川越市～小川町間において使用開始します。

※東上線 池袋～川越市間は、2015年度中に使用開始予定です。

2 ATCについて

Automatic Train Control（自動列車制御装置）の略で、信号機を運転台に配置し、先行列車との間隔に応じてブレーキ制御を行うほか、曲線やポイント通過の際、列車の速度を自動的に連続して制御する装置です。このたび東上線において使用開始する「東武型ATC」では、踏切支障時の防護機能や停車駅の定位置停止・誤通過防止などの拡張性をもたせており、保安レベルのより一層の向上に寄与するものとなっています。

3 列車の運転時刻の変更について

ATCの使用開始に合わせて、安定輸送および朝ラッシュ時間帯の一部列車の遅延解消を図るため、駅停車時間および所要時間の見直し等により列車の運転時刻を変更します。

(1) 時刻変更実施区間 東武東上線（東上線、越生線）

(2) 時刻変更実施日 2015年1月24日（土）の初列車より

※変更後の列車運転時刻の詳細については、東武鉄道公式ホームページ（<http://www.tobu.co.jp/>）

や今後発売を予定している冊子タイプの「東武東上線時刻表」などでご確認ください。

以上

※お問い合わせは、東武鉄道お客さまセンター ☎03-5962-0102